第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計画 令和5年度進捗状況等について(報告)

令和6年10月 健康スポーツ部スポーツ振興課

1 はじめに

加須市では、地域全体でスポーツを通じた地域づくりに取り組む方向性を定めるものとして、平成24年3月に「加須市スポーツ推進計画」(計画期間:平成24年度から令和2年度)を策定し、5年が経過した平成29年10月には第1次計画の内容を見直し、「いつでも、どこでも、だれもがスポーツを"元気に行う""楽しく学ぶ""すすんで支える"」を基本理念として、スポーツの振興を図ってまいりました。

これまでの取り組みの成果と課題、本市を取り巻く社会経済状況の変化、国・県の動向などを踏まえるとともに、心身の健全な発達、明るく豊かな生活の形成、活力あるまちの実現に向け、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、第2次加須市スポーツ・レクリエーション推進計画(計画期間:令和3年度から令和7年度)を策定しました。

この報告書は、計画全体の進行管理を行い、今後の取り組みに生かすため、毎年計画に基づく事業の進捗状況の把握を行うものです。

2 進捗状況の把握期間

令和5年度(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)に実施した各施策・事業を施策体系別に把握したものです。

3 評価結果の概要

数値目標24件の達成率について、12件が「目標を達成」「概ね達成」と目標を達成し、50.0%が目標を達成しました。

取組内容 7 1 件の達成率について、5 2 件が「目標を達成」「概ね達成」と目標を達成し、73.2%が目標を達成しました。

新型コロナウイルス感染症対策や熱中症対策のため、短時間での開催や式典の中止等 工夫しながら事業を行うなどの対応を図りました。

4 達成度評価基準

	評価	達	成 率	
н г пш		指標設定がある場合	指標設定がない場合	
1	目標を達成	100%以上	_	
2	概ね達成	80%以上100%未満	実施すべき取組を円滑に行えた	
3	やや遅れている	50%以上80%未満	実施すべき取組にいくつか遅れがある	
4	大幅に遅れている	50%未満	事業が滞ってしまっている	

5 令和5年度 数值目標達成状況

基本目標	達成度評価(件)				l 目標を達成 +2 概ね達成	
(施策)	1目標を	2 概ね達	3 やや遅	4 大幅に遅	件数	達成率
	達成	成	れている	れている		
1 スポーツを楽しむ元気な市民 [~] スポーツ参画人口の拡大 [~] (1 ライフステージに応じたスポーツの推進) (2 だれもが楽しめるスポーツの推進) (3 スポーツ人材の充実) (4 スポーツに親しめる場の充実)	4	3	4	4	7	46.7%
2 スポーツで元気な加須市~スポーツを核とした交流人口の拡大~(1 女子野球の推進)(2 スポーツクライミングの推進)(3 自転車の推進)(4 全国大会等の支援)	4	1	3	1	5	55.5%
合 計	8	4	7	5	1 2	50.0%
割合	33.3%	16.7%	29.2%	20.8%	_	_

6 令和5年度 取組内容達成状況

基本目標	達成度評価(件)				l 目標を達成 +2 概ね達成	
(施策)	1目標を	2概ね達	3やや遅れ	4 大幅に遅	件数	達成率
	達成	成	ている	れている		
1 スポーツを楽しむ元気な市 民~スポーツ参画人口の拡大~ (1ライフステージに応じたスポーツ の推進)	6	8	2	4	1 4	70.0%
(2だれもが楽しめるスポーツの推 進)	2	1	2	1	3	33.3%
(3スポーツ人材の充実)	/ 4	6	0	1	1 0	81.8%
(4スポーツに親しめる場の充実)	5	1 1	2	1	1 6	89.5%
2 スポーツで元気な加須市〜 スポーツを核とした交流人口 の拡大〜 (1女子野球の推進)	2	1	0	0	3	100%
(2スポーツクライミングの推進)	2	0	0	1	2	66.7%
(3 自転車の推進)	2	0	1	0	2	66.7%
(4全国大会等の支援)	1	1	3	1	2	33.3%
合 計	2 4	28	1 0	9	5 2	73.2%
割合	33.8%	39.4%	14.1%	12.7%		_

※割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100%とはならない。

■計画全体の成果

計画全体の成果基準

成果		成果評価基準		
A 非常に成果があっ		全ての数値目標が目標利を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合。		
た		「大いに成果が得られたとみなせる」とは、設定したすべての数値目標の実績値が目標		
		値を100%以上達したものをいう。		
B 相当程度成果があ		一部の数値目標が目標利に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合。		
った		「概ね成果が得られたとみなせる場合」とは、数値目標の実績値がいずれも目標値の8		
		0%以上達したものをいう。		
С	成果があった	数値目標の達成状況は芳しくなかったものの、取組として前進したとみなせる場合。		
		「数値目標の達成状況は芳しくなかった」とは、数値目標の実績値が目標値の80%未		
		満となったものをいう。		
D	成果がなかった	数値目標と実績値に大幅な乖離があり、取組として前進したとは言い難い場合。		
		「数値目標と実績値に大幅な乖離がある」とは、数値目標の実績値がいずれも目標値の		
		50%未満となったものをいう。		

数値目標の成果

達成度評価		事業数	割合	
1	目標を達成	8事業	33.3%	
2	概ね達成	4事業	16.7%	
	合計	12 事業	50.0%	



C 成果があった

取組内容の成果

	達成度評価	事業数	割合
1	目標を達成	24 事業	33.8%
2	概ね達成	28 事業	39.4%
	合計	52 事業	73.2%



C 成果があった

新型コロナウイルス感染症対策や熱中症対策のため、開催規模の縮小により、「参加者数」「観客数」などが減少し、関連する事業の実績値にもマイナスの影響を及ぼした。 しかしながら、各種教室などを可能な限り開催し、スポーツの普及推進を図ることができた。

数値目標においては「1 目標を達成」、「2 概ね達成」した事業が全24事業のうち12事業(50.0%)あり、取組内容においては「1 目標を達成」、「2 概ね達成」した事業が全71事業のうち52事業(73.2%)となったことから計画全体の成果を「(成果があった」とした。